

戦争を許さない 幅多の会 雨にもめげず 台風にもめげず

川村 喜美

9月19日に幅多地域でも、ちよど1年前強行採決があった戦争法を「絶対に忘れない!許さない!」と四万十市で集会が行われました。

当日は大型台風が接近する悪天候で、屋外での集会の開催そのものが危惧される状況でしたが、参加者の思いが通じたのか、集会の時間だけは小康状態となり、無事に開催できました。(デモ行進は参加者の安全のため中止。)

合羽を着たり傘をさしたりして、幅多地域の市町村から35名の参加があり、各市町村から意見発表者があり、各市町村戦争体験者からは、「軍隊は暴力で人を支配し、恐怖心し

きの緊張感や達成感。風を切る爽快感。カワセミと出会う興奮。とにかく楽しく、心洗われる体験です。未体験の方はぜひチャレンジを。インストラクターにければ誰でも安心してできます。

●卓球：自宅のダイニングテーブルを台に、ネット代わりに薄型のティッシュボックスを3つ並べてスタンバイ。妻と毎日壮絶なバトルを展開中です。めきめき腕を上げている妻が、そのうち鋭いスマッシュを決めて「サァ」と声をあげることになるのでしょう。

●ダンス：大月分校在職中、ストリートダンス部の立ち上げに奮闘し顧問に。学園祭では部員とともにダンスを披露しました。授業でもマイケル・ジャクソンのスリラーに挑戦。今でもその種の音楽には体が反応してしまいます。妻には、「変な動きをしないで」と怒られていますが。「ストリートダンスは、非暴力の精神から始まった平和の文化」ということを私に教えてくれたのは大月分校ストリートダンス部初代部長です。今彼はアメリカで世界を広げ、大月でダンス教室を開いています。

●その他：部活動で1番長く顧問をしたのはバドミントンです。退職の年にも、部員と一緒にプレーし、キャプテンともほぼ互角の勝負をしていました。かつては、試験期間中の職場レクの定番でした。青年部主催の交流大会も行っていました。それでは、これまでに体験した変わり種スポーツをあげてみます。パラセーリング、

ウインドサーフィン、アイスホッケー、アイスダンス、鉄棒大車輪、あん馬、吊り輪、トランポリン、ラクロス、ペタンク・・・まだありそうですがこれぐらいに。最後はちょっと自慢で。剣道4段、柔道2段をもっています。

趣味悠々 ～スポーツ編～ 川淵誠司

多趣味です。中には趣味の領域には届いてないものもありますが、私のこだわりや思い入れのあるものをいくつか挙げてみましょう。

●サッカー：中村シニアクラブ所属の現役選手です。今年8月に公式戦で人生初のハット・トリックを達成しました。現在、県サッカー協会理事・西部地区協会理事長。先日春野で行われた天皇杯3回戦マリノス対ベルディを観戦(Jリーグ発足当時のゴールデンカード)。中村俊輔の鮮やかなフリーキックの得点を目の前で見られて感激しました。昨年は中村クラブに所属し四国リーグを戦う次男の追っかけで、四国中を回りました。FC今治のオーナーになっている元日本代表監督の岡田氏とも接触する機会を得ました。(写真)

●スキー：北陸金沢にいたのに、大学在学中スキーをしたのは1回だけ。南国高知へ帰ってから、ほぼ毎年のようにスキーへ行くことになるとは。「幅多青年スキーツアー」のおかげです。家族4人で参加すると、ボーナス1回分が飛んでしまいましたが、それでも北海道のニセコやルスツ、東北蔵王、信州八方・裾池へと。最近では鳥取大山、島根旭テングストンと近場になっていますが、寒くなると、ゲレンデに心が飛びます。

●カヌー：四万十市に住んでいたら、やはりカヌーでしょう。全国のカヌーイスト憧れの聖地がすぐそこにあるのですから。自然との一体感、瀬へ突っ込むと

趣味悠々



岡田監督と



高教組幅多支部夏レク (四万十川)

高知市の集会 「せんそうするな!」

別役 美佐

丸ノ内緑地には、のぼり旗が林立し、マイクの音が響き渡りました。昨年の安保関連

「かない」、一年寄りや国会の者で、戦争参加を決め、実際に命を落とすのは若者である。」等の話がされました。戦争法に反対する国民は各調査でも大半であり、今後も幅広い組織や個人と共同して、スーダンの情勢を知るにつけ、自衛隊員であっても、誰も殺し、殺されないための取り組みを展開することが緊急だと思われました。

法の成立から1年、その廃止を求める集会が「高知憲法アクション」の主催で9月19日に開催されました。集会では、民進・共産・社民・新社会の4野党に加え、学生の団体「PEDAL(ペダル)」「安保関連法に反対するママの会」高知「等の団体がマイクを片手に訴えました。武内則男(民進党県連代表代行)からは、「安倍政権打倒、国政選挙での共闘を今、ペダルから」が、ママの会からは「誰の子どもも殺さない・殺させない」の主旨で訴え続ける決意が語られました。

の下で、益々「安保関連法反対」の声をひるめ、連帯の絆を深めた参加者350名の集会でした。「ストップ戦争法廃止」「九条まもれ」「教え子を戦場に送らない」等のプラカードに混じり、小学生の男の子が書いた「せんそうするな!」の文字は、まさに子どもや若者の未来を、慮るにするものです。「九条は九条のまま」で、次世代に引き継ぎたいもの

9・19戦争法廃止集会!

田中 正

いの町でも雨の中、町役場前で25人が集まり、手に手にポスターやステッカーを掲げ「戦争法廃止」を訴えました。基調報告、アピール、リレートークなどを通して帰庁する町職員やスパーに向かう町民に力強く、思いを届けました。